

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年12月5日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年12月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【構内道路における物損事故について】 構内道路を走行中に、右折した際、車両がガードレールに接触し、車両右側面後部を損傷。 負傷者なし。オイル漏れなし。	GⅢ
2	【淡水化装置フィルタ排水弁開閉表示の破損について】 淡水化装置フィルタ排水弁に取り付けられている開閉表示の破損を確認。 弁の開閉および淡水化装置の運転に影響なし。 今後、修理する。	GⅢ
3	【雑固体廃棄物焼却設備 冷却塔(B)ボールタップ弁※の動作不良について】 雑固体廃棄物焼却設備屋上に設置されている冷却塔(B)のボールタップ弁の動作不良を確認。 今後、点検する。 ※ボールタップ弁:冷却塔貯水槽の保有水が一定レベルまで低下すると自動で作動し、ろ過水を補給する弁。	GⅢ
4	【既設多核種除去設備(A)クロスフローフィルタ二次側流量絞り弁軸封部からの滴下について】 既設多核種除去設備(A)のクロスフローフィルタ二次側流量絞り弁軸封部から滴下した水たまりを確認。 発見時に既設多核種除去設備(A)は停止中。 滴下した水は既設多核種除去設備建屋に留まっており、建屋外への流出はない。 軸封部パッキン押さえボルトの増締めを実施し、滴下の停止を確認。	GⅢ